

○ 第3回検討会の目標

動線及びゾーニングの検討

○ 議事

(1) 学識経験者（森 傑 教授）によるレクチャー （30分）

ホールの建築に関する基本的な考え方や、本検討プロセスの意義について、北海道大学の森教授より説明してもらい、全体で意識を共有します。



レクチャーのイメージ

(2) グループディスカッション（動線及びゾーニングの検討）（90分）

① グループ分け（5分）

2グループに分かれて検討を行います。

A グループ（野村・渋谷+ 学生3名）

- ・ 大口 様（美術／公募市民）
- ・ 佐藤 様（音楽）
- ・ 西川 様（学会）
- ・ 松倉 様（商工会議所）
- ・ 森（禎宏） 様（演劇）

B グループ（坪内・中島+ 学生2名）

- ・ 五十嵐 様（ユニバーサルデザイン）
- ・ 大谷 様（デザイン）
- ・ 鈴川 様（コンベンション）
- ・ 水野 様（合唱）
- ・ 南 様（吹奏楽）
- ・ 宮田 様（公募市民）

② 動線及びゾーニングの検討（70分）

初回となる第3回検討会では、「動線」と「ゾーニング」について検討します。

ア 「動線」の検討

敷地周辺の白地図を用いて、想定される「動線」として、ユーザーアクセス（来館者のアクセス経路）とサービスアクセス（出演者・搬出入車両等のアクセス経路）を書き込みながら検討します。

イ 「ゾーニング」の検討

アと並行して、施設の向きをどのように設定し、出入口や搬出入口をどこに設定するかといった部分を切り口に、敷地内における大まかな機能の配置案を白地図に書き込みながら、想定していきます。



検討のイメージ

※ 検討に際して留意すべき事項（一例）

- 買物公園からの動線（7条緑道からのアプローチ）
- 駐車場からの動線
- 隣接する市庁舎との関係性（市庁舎の出入口や、車寄せの位置等）
- 近接の消防署からのサイレン音 など